



27議委 第39号

平成27年9月1日

南会津町議会議長 五十嵐 司 様

南会津町議会産業建設委員会

委員長 湯田 賢太郎



委員会調査報告書

本委員会の所管事務調査について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

1. 調査事件

- ・閉会中の継続調査として、平成27年度事業について現地調査

2. 調査の経過

平成27年度中に事業が予定されている箇所について、主要な事業を抽出して現地調査を行った。

＊ 実施日 平成27年8月4日、5日

＊ 実施箇所 別紙のとおり

＊ 出席者

産業建設委員会	湯田賢太郎委員長、阿久津梅夫副委員長、森 秀一委員、 湯田良一委員、湯田 哲委員、星 光久委員、 事務局 齋藤二郎局長補佐
---------	---

農 林 課	渡部 徹課長、大桃 仁課長補佐、室井利和農林土木係長
建 設 課	阿久津弘典課長、星 徹也土木係長

環境水道課	野中英昭課長、野中昭一水道係長、渡辺健二下水道係長
-------	---------------------------

館岩総合支所	長沼 豊支所長、山根 博振興課長
--------	------------------

伊南総合支所	宍戸英樹支所長、羽染正巳振興課長、湯田賢史企画観光係長
--------	-----------------------------

南郷総合支所	梅宮昭広支所長、大橋三郎振興課長、齋藤 清農林建設係長
--------	-----------------------------

3. 調査の結果、意見

8月4日（火）

1) 田島地区（環境水道課） 田部長野簡易水道事業 増設配水池基礎工一式

長野水源は、台風時に濁るなど水質が悪いため、地下水を水源として新たに整備することになった。必要な水量は 950 t で、50mの深度から汲み上げることができる。このことから、配水池や配水管の増設工事を実施することになるが、今後は地形測量、調査設計、用地取得等が進める。また、田部地区は圃場整備の計画もあるため、これらの調整も必要となる。

●水道水は住民に直接関係するものであり、また、集落の垣根を越えた整備ということで、慎重かつ円滑に進めて頂きたい。

2) 田島地区（建設課） 田部原2号線 測量設計 L=200m

今年度は測量設計を実施し、平成28年度は用地買収・補償・電柱移転等を計画、平成29年度に工事を完了したい。

●議会報告会で早急な整備要望のあった路線であり、周辺には住宅や住田光学の工場等もあることから一日も早い完成が望まれる。

3) 田島地区（環境水道課） 公共下水道事業（田島）（国道289号バイパス） 下水道管埋設 L=190m

国道工事に合わせ、両側の歩道に埋設している。国道工事が進むと道路の

縦断が下り勾配になる。下水道は自然流下を基本としているため、管理設はその時点で止めることになる。また、その先について必要な場合は別方向から計画したい。

●他事業との同時施工は経費軽減にも繋がるため、継続してほしい。

4) 田島地区（環境水道課） 水道配水設備拡張事業 配水管布設 $L=260\text{m}$
（国道 289 号バイパス・区画道路）

国道工事に合わせ、歩道に埋設している。また、土地区画整理事業も並行して実施されているので、対応できるよう合わせて実施している。水道は圧送するため勾配にはこだわらないことから、国道の進捗に合わせて埋設したい。土地区画整理事業区域も道路敷内の埋設となるが同時に進めていきたい。

●同時施工は、土地区画整理事業の早期効果発生に期待するものである。このバイパスが国道 121 号と接続し、一日も早く完成するよう要望活動を活発に行いたい。

5) 田島地区（環境水道課） 荒海簡易水道事業 送水管布設替 $L=300\text{m}$

昭和 58 年に整備した施設で、平成 4 年に布設替えの工事を実施しているが、本工事区域は当時新しかったため実施されなかった。埋設されている管は V P 管で、秋から冬にかけて割れやすく、漏水も多いため入替工事を実施している。

●水道事業において漏水は大きな負担であり、早急な解消を期待したい。

6) 田島地区（環境水道課） 荒海小学校太陽光発電設備工事
太陽光発電設備 10kw 蓄電池ユニット 15kw

東北電力では買電を行わないことになったため、電気は全量自校で消費することになる。

●原子力に頼らない再生可能エネルギーの推進は福島県の課題である。公共施設の活用は地域の見本であり、学校施設からの整備は理に叶っていると思う。

7) 田島地区（環境水道課） 水道配水設備拡張事業
配水管布設替 $L=1,090\text{m}$

漏水が多いため布設替えの工事を実施しており、耐用年数が 100 年とされているポリエチレン管を使用している。製品は 5 m であるが継ぎ手の融着精度が高く全長が継ぎ手のない 1 本の管となり、接続箇所の確認は電気を通して行っている。弾力性があるため地震に強く強度もあり、石などの硬い物の衝撃があっても割れない性質を持っている。

●漏水解消は水道会計の経費軽減につながるため、早急な解消を期待したい。

8) 田島地区（農林課） 中山間総合整備事業（静川地区）

農道整備 L=820m

幅員 5 m の改良工事で、今年度は調査設計を行い、次年度以降に用地取得及び工事を行う。

●農地集約や集団化が叫ばれている中で、大型機械の走行が容易に行われる農業用の施設整備は必要不可欠であり、早期の完成が望まれる。国道 289 号が通行止めとなった場合の迂回道路として期待できる。また、未舗装の農道について、現道舗装により早急な対応をお願いしたい。

9) 伊南地区（農林課） 補助治山事業

土留工 1 基、水路工 46.5m、緑化工 1,044 m²

平成 23 年新潟・福島豪雨災害の被災地であるが、計画されている 5 基のうち 4 基の工事が完了している。今年度、残る 1 基と流路工・緑化工の施工により完了となる。

●山腹崩壊はさらなる被害拡大の可能性がある。山林面積の多い南会津町にとって、治山事業は被害を最小限に抑えるための重要な事業である。

10) 伊南地区（伊南支所） 伊南クロスカントリースキーコース

施工延長 L=1,779.5m

今年度は、白沢地区に向うコースの建設工事と立木補償を実施し、次年度は、伊南小学校裏のコース建設工事と圧雪車格納庫の建設を計画している。

●整備後は、常設の公認クロスカントリースキーコースとして、各種大会の誘致により幅広く活用される。大規模大会による誘客は宿泊を伴うものであり、地域の活性化に大きく貢献できるものと期待できる。

11) 伊南地区（建設課） 社会資本整備事業 流雪溝 L=317.0m

古町地区裏の町道側溝を流雪溝として整備するものであり、年次計画により今年度で完了となる。

●豪雪地帯で生活する南会津町の住民にとって、住宅周辺の雪処理は大きな負担である。負担を少しでも軽減できる流雪溝の整備は今後も進めるべき課題と考える。

12) 伊南地区（建設課） 小沼尻・馬乗馬場線 橋梁修繕工 一式

橋梁に使用された防水シートの損傷が舗装劣化の原因となっている。このことから、防水シートの張替により防水対策を講じたうえで舗装の修繕工事を実施する。

●防水対策による舗装劣化の早期修繕により、橋梁の長寿命化が図られるものとする。

13) 伊南地区（農林課） チップ生産加工場 施設等調査

1 日 50 m³ の生産能力があるが、現在はきらら 289 への出荷のみであり、週

1回の稼働となっている。アストリアホテルのチップボイラーが稼働すれば、1日42 m³の需要があるため毎日稼働することになる。問題は含水率であり、50%以下を求められている。

●課題は含水率の減少と考える。解決のためには乾燥期間を長く保つためのストックヤードであるが、用地の確保が必要になる。また冬期間の説明はなかったが、含水率低下のための対応として、積雪期における原木管理等、課題はあると思われる。森林資源の豊富な南会津町にとって、再生可能エネルギーの活用は重要な施策であり、木材チップの生産はそれを支えるものであることから、今後に期待したい。

14) 南郷地区（環境水道課） 特定環境保全下水道事業（南郷）

下水管理設L=400m

現在は、昨年度に実施した管理設工事の舗装復旧工事を実施している。今年度は土木事務所との協議により、本線延長を先送りして集落内の枝線工事を予定している。

木伏地区完了後は、南郷処理区域の人口減少により、終末処理施設に余裕があることから伊南処理区域との接続を検討していきたい。

●伊南処理区域との合併は、終末処理施設の経費軽減が図られることは必至であり、ぜひ進めて頂きたい。集排施設と下水施設の統合の可否に不安がある。

15) 南郷地区（建設課） 大新田1号線（南郷橋掛替工事） 橋梁下部工2基

平成30年開通を目標に進めていきたい。鮎釣りや台風の時期は施工できないので、それまでの間に準備を進め、その後工事に着手したい。実質工事期間は4か月となる。

●地元要望が大きいだけに早期完成を期待したい。

16) 南郷地区（農林課） 中山間地域総合整備事業

ほ場整備 台板橋地区 A=5.9ha

今年度は全面積の面工事を実施し、次年度以降に補完工事を進めていきたい。作付け品目をトマトと設定し、それに合わせた区画として2反歩に整備する。

●整備区画を2反歩にしたことは地元の要望と考えるが、近年の南郷地域の整備区画は3反歩であり、トマト生産も同条件あることから、逆行した整備に疑問が残る。茅や柳の繁茂が目についており、事業の着手を高く評価したい。

17) 南郷地区（農林課） 南郷トマト選果場 施設等調査

選果設備が老朽化し、修繕やメンテナンスに支障が生じていたため、設備の再整備を実施した。事業費2億3千万円程度に対して、国庫補助50%、J

A25%、3町（南会津町、只見町、下郷町）の補助金25%で整備された。

なお、南会津町は3,800万円を負担した。

●旧設備は平成16年稼働で10年が経過している。コンピューター制御による設備であり、故障の際に機材や部品が入手できないものがあつた。設備の更新は妥当であり、高規格化を図ることで産地の拡大に期待したい。

18) 南郷地区（環境水道課） 南郷簡易水道事業 配水管布設替 L=800m

石綿管を内径150mmのポリエチレン管に布設替えする工事。南郷地区は石綿管の埋設箇所が多く、布設替えは今後必要である。

●石綿管の布設替えは、水道を使用する住民の不安解消につながるため、早期の完了を期待したい。

19) 南郷地区（南郷支所） 和泉田沢河川復旧工事 復旧工 L=13m

設置地盤が洗屈されたことにより、大型ボックスカルバート3基が倒伏し、流路を遮断している。復旧工事として、ボックスカルバートの撤去、設置地盤の整備、ボックスカルバートの再設置の順に進められる。

●倒伏している1基は水路を遮断しており、2次災害の恐れもあることから早期の完了を期待したい。

8月5日（水）

20) 舘岩地区（農林課） 復旧治山工事 細窪地内 谷止工 2基

平成23年新潟・福島豪雨災害関連工事である。計5基の谷止工を建設する計画であるが、3基はすでに完了している。今年度に残り2基を建設し、その後流路工を整備して完了となる。

●土砂流失による施設災害防止の施設であり、早期の完了を期待したい。

21) 舘岩地区（建設課） 向山1号線 橋梁下部工 1基

工事箇所は、さいたま自然の家への連絡道路であるが、現況は幅員が狭くカーブしているため大型バスの通行に支障がある。橋梁の新設と取付道路拡幅により、大型バスの通行を容易にし、四季を通じて安全が確保されることになる。

●さいたま自然の家は、さいたま市の中学生が四季を通じて利用している施設であり、出入道路の安全確保は大きな意義がある。早期の完了を期待したい。

22) 舘岩地区（環境水道課） 中部地区簡易水道事業

配水管布設替 L=200m

石綿管又は老朽VP管を内径150mmのポリエチレン管に布設替えする工事。当初はL=400mの計画であつたが、補助金の減額により工事延長も半減した。

●漏水解消は水道会計の経費軽減であり、早急な解消を期待したい。

23) 舘岩地区（建設課） 高杖原線 道路改良工 L=120m

現状は舗装道路であるが、路面が沈下し側溝が浮いた状況になっている。工事内容は舗装と道路側溝の整備であるが、もともと路盤が柔らかく、以前の工事の際も、相当量の砕石を投入して土砂の入替が行われていた。児童・生徒等の合宿に支障があるため、工事の施工は夏休み明けに計画している。

●たかつえスキー場やアストリアホテルへのアクセス道路であり、冬期シーズン前の完成を望むものである。

24) 舘岩地区（舘岩支所） アストリアホテル チップボイラー施設

本施設は不完全燃焼が原因の白煙が発生したことから、現在は稼働を停止している。1.5mの煙突を5.0mに延伸したり、60%以上であったチップの含水率を50%未満にしたりするなどの対策を講じている。現在は含水率等の調査を行っている。

●本施設は、再生可能エネルギーの活用施設として期待されている。問題は発生したが、これらの課題に対する対策は進められており、当初予定の効果達成に向けて早期の再稼働に期待したい。チップのストックヤードが必要であると感じた。



出発式



田部長野簡易水道事業 水無地区



田部原 2 号線 田部原地区



公共下水道事業 行司地区



水道配水設備拡張事業 帯沢地区



社会資本整備事業（流雪溝）古町地区



チップ生産加工場 青柳地区



大新田1号線（南郷橋掛替）上山口地区



和泉田沢河川復旧工事 上平地区



向山1号線（橋梁下部工）木賊地区



チップボイラー施設 高杖地区



解散式